

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会第4回定例会
開催日時	平成16年7月28日（水曜日） 18時32分から20時20分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	会長：下栗庸隆 副会長：西谷征一 委員：細井邦夫、木村俊二、濱崎昌子、水野教雄、内山由之、武田雅子、関谷大博、米村博子、米澤千鶴、富澤佳代子、遠山久敬 職員：島崎館長、近藤事業係長、小倉分館長、長谷部分館長、玉木分館長、古瀧分館長、上野分館長、藤森公民館主事、村上公民館主事
欠席者	委員：野崎佳宏、竹内敏子、北岡和彦、仲川準
議題	(1) 第3回会議録について (2) 報告事項 1. 事業計画・報告書について 2. 6月定例市議会報告 3. 第2回住吉公民館移転計画説明会報告 4. 関ブロ大会について 5. 公民館だより編集委員報告 (3) 協議事項 1. 新しい公民館・図書館のあり方策定委員会委員の選任について 2. 講師派遣事業のあり方について (4) 次回の日程について
会議資料の名称	(1) 事業計画書6件
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(1) 公民館運営審議会第3回会議録について ※特に問題なし</p> <p>(2) 報告事項 1. 事業計画書・報告書について</p> <p>○委員： 田無の女性講座の申込方法が、電話と来館の2種類あるので、公平に受け付けられるよう注意してほしい。</p>	

○委員：

保育付の講座は、1人当たりの単価が高騰する。また、講師謝金に差があるが、適正であるのか。

○館長：

講師謝金の基準を設けて支払っている。

○委員：

一定の基準に達した講師であることを望む。確認は怠らずに行ってほしい。

○委員：

クリスマスパーティーは、宗教行事であるとの疑問を持つ人もいると思う。単なるお楽しみ会でもよいと思う。

○委員：

お墓がないと死ねませんか？というタイトルに宗教的なものを感じ取れないか？葬送の自由をすすめる会という、特定の団体のPRになりはしないか心配する。

○職員：

散骨や特定の葬儀について奨励するものではないので理解してほしい。

○委員：

タイトルだけでも工夫してみてもどうかと思う。

2. 6月定例市議会報告

○館長：

公民館に関する一般質問としては、住吉移転の問題と保育事業について質問を受けた。保育に関しては、15年度の公運審の意見具申を受けてその後の検討内容について質問を受けた。

また、陳情審査であるが、住吉公民館と下保谷図書館の移転について、それぞれ2件ずつ反対の趣旨のものが提出されており、継続審議となっており、8月23日の文教委員会で審査を行う。

3. 第2回住吉公民館移転計画説明会報告

○館長：

7月18日に39人の出席のもと、移転説明会を行った。市教委としては、移転の背景、駅前の公民館のメリット、移転後の福社会館への活動の場の補償、などをもって説明したが、参加者の理解は得られなかった。

説明会に参加した多くの人が、そもそも移転に反対であること。市の方針の決定の前に説明を行うべきであったという意見の方が多くいること。駅前再開発事業そのものに異論のある人が出席していること。住吉公民館そのものへ愛着のある人が多く集まっていること。活動の場を失うために反対をしている、などが語られた。市教委としては、再度の説明会を行う予定はない。

○委員：

既に議会で決まってしまっている事項であり、職員も説明できない状況である。聞いていても住民不在の感が否めなかった。誰が悪いという訳ではなく、住民の立場も職員の立場もよく理解できる。

○委員：

職員が未消化のまま説明をさせられているという感じがする。女性センターの質問にしても、どちらが先に決まったのか、決定事項の内、何と何が変更が可能で、だめなものは何なのかという説明がないので、理解できない。住吉の存続が不可能であるのなら、もっと駅前に移転する必要性を説明すべきである。

この次は、住吉公民館でない場所でやってはどうなのか。違う意見が出る可能性はあると思うが、「市の決定」という説明だけでは理解を得るのは難しいと思う。

4. 関ブロ大会について

○職員：

心配していたより多くの参加者が申し込んでくれており、現時点で1000人を越す勢いである。

西東京市の実行委員会も既に開催され、それぞれの分科会ごとに受付けや当日の会場準備をどのように行うのかを話し合っている。次回の実行委員会は、偶然にもどちらも8月11日に決まった。具体的な準備はその日に行うので、関係各位は参集してほしい。

5. 公民館だより編集委員報告

○委員：

8月号、9月号は戦争の体験について連載する。第二次大戦の体験者も高齢化するこの頃、こうした記事に残すことは大切なことだと思う。

ところで、編集委員会では、公運審の内容について掲載したいということで話し合っている。今日は各委員の意見を聞いていきたい。

○会長：

公運審を世間に知らせる意味ではよいことであると思う。各委員の意見を述べてほしい。

○委員：

合併時に、田無は乗せていたが保谷側は載せておらず、調整をした経緯がある。そのときも、誰が記事を書いて何を載せるのか、さらに、スペースとの関係もあり、結局割愛することに決まっている。

○委員：

委員会の中でも、会長の言うように、総論では盛り上がるのだが、確かに各論になるとこれといった具体的な案が浮かんでこないのが実態である。

○委員：

過去には保谷でも運審の委員が輪番で記事を書いていた時期があったと思う。もしも取り入れるのであれば、何をどういう風に連載するのかをきちんと取り決めないといけないと思う。

○委員：

会議の様子といっても、会議録を載せても味気がないし、面白くもない。こんなことを議論しているということを知らせてほしい気持ちもあるが、読んでくれるかどうか疑問だ。

ところで、今回の関ブロ大会のように、委員が参加している活動の様子などは是非報告してほしいと思う。毎号でなくても、何かトピックスがあるときには出すという趣旨でもよいのではないか。

○職員：

国分寺・国立の公民館だよりは、毎回運審の委員の記事が出ている。市民参加で紙面を作っているというPRのためにも、記事を掲載することが必要であれば委員会でも検討していきたい。

○委員：

この次にいつ公運審があるという記事だけでも載せたらどうか。今は市報だけである。

○会長：

今上がった意見をもとにして、委員会の席で議論を続けてほしい。

(3) 協議事項

1. 新しい公民館・図書館のあり方策定委員会委員の選任について

○会長：

自薦他薦を含めて意見はあるか。なければ館長の意見を聞く。

○館長：

委員の中でも、比較的運審を長く務めている米澤さんを推薦したい。

○委員：

他に立候補者がいなければお受けすることに吝かではない。

○会長：

米澤氏でどうか。

※異議なし。

そのように決定したい。

2. 講師派遣事業のあり方について

○会長：

今月も意見を出し合って勉強する必要があると思う。来月当たりからまとめに入っていく必要があると思う。

○委員：

講師に支払われる謝礼は交通費込みのものであるのか。

○館長：

交通費としては、公費で負担できない。

○委員：

市の予算を使うのであるから、多少面倒な手続きがあるのもやむを得ないと思っている。しかし、申請書類をどのように工夫して書くかによって事業のアピールの度合いが異なる。

講師謝金のことであるが、実技は2万円を上限ということであるが、自分が交渉してみte感じたのは、人によって個人レッスンでも30分1万円を必要とする人もおり、非常に苦勞する。

○委員：

政党の下部組織と思われる団体が行う事業を認めているケースがあるようだが、選考の基準はどうなっているのか疑問だ。

○委員：

あるグループの講座に参加したことがあるが、かなり思想的に偏った内容のものであったことがある。しかし、最初から選別するというのは大変困難が伴うことであると思う。

○委員：

申請時点で最初から歯止めをかけるというのは大変難しいことだと思う。むしろ、後でチェックする制度を設けることが必要なのではないかと考える。

○委員：

講師派遣事業を行う団体のポスターやチラシの搬送を求める市民の声に応える用意はあるのか。

○職員：

公費で運営する文書交換便で、団体のチラシやポスターを搬送する予定はない。各団体が自助努力してほしい。

○委員：

搬送については、懇談会でも提起された切実な意見であり、前向きに検討すべき事項と考える。

○会長：

ポスターの搬送については、公の文書を運ぶ交換便に乗せることは趣旨が異なると思うが、来月以降も調査・研究の上、方向性について議論を進めたい。

(4) 次回の日程について

○館長：

来月の運審を関ブロ大会との関係で1週間早めて招集したいがどうか。

○委員：

関ブロ大会にも2日間出席するし、実行委員会でも出席しており、出来れば8月は休みにしてほしい。

○会長：

9月に引き続き行うということでどうか。

※異議なし

そのように決したい。

9月22日（水曜日） 18時30分

田無公民館に於いて